

附属資料 6

1995 年度漁業水産資源局の活動報告

国家経済の再建に対する水産業分野のより一層の貢献を図るために、様々な施策が講じられた。それは既存の事業の合理化（エビ産業の健全化、混獲魚の回収、伊勢エビ漁の整備等）、小規模沿岸漁業の開発（南部沿岸の伝統漁業の総合開発、トアマシナの零細漁業振興等）、内水面漁業と養殖開発（稲田養殖、エビ養殖等）である。仮に、零細規模の漁業と養殖が、幾年もの間、地域市場を満たすことに限定されていなければ、輸出活動にも一層関わっていたであろう。

大企業漁業は常に輸出製品の生産を対象としているが、混獲魚の地方市場への供給にも貢献しなかったわけではない。ノシペで開催された国際会議において混獲魚回収のより合理的なシステムの確立が議論されたことが背景となっている。

1995年の漁獲総量は約117,000トンと推定されている。小規模漁業（海面および内水面）が全体の81%を占めており、大規模漁業と養殖業がそれぞれ17%、2%となっている。

1995年の総輸出量は21,355トン、金額では3,470億FMGと推定される。外国入漁船ライセンス料収入も含めると水産分野全体で約3,530億FMGの外貨を得ていることとなる。この内訳は、エビ（の輸出。以下同じ。）59%、マグロ缶詰23%、魚類7%、サメ4%、伊勢エビ3%、入漁料1.5%、ナマコ1.5%、カニ0.5%となっている。

我が国の輸出製品の国際競争力を高めるために、5つの新会社が加工場の改善工事を行い、その結果、欧州連合への輸出認可を得た。その後50社が輸出認可を得た。

エビの輸出に関しては、1995年は「慎重な管理政策」(PROBING STRATEGY)の適用に特徴づけられる。FAOは、エビ資源の状況を分析するために、3～4年間は漁獲努力の増大をほぼ凍結する（既存漁獲努力量の10%以内の増大に留める）ことを勧告した。95年、モロンダバを本拠地とする大規模企業が新設された。既存の大規模企業11社の底びき漁船総数は65隻。その他に約30隻の小型底びき漁船（50馬力以下）が存在する。95年の全階層のエビ漁獲量合計は10,668トンであり、94年に比して約2,000トンの減少であるが、92～93年に行われた不合理な漁獲努力増大による混乱が、持続可能な資源開発に何らかの悪影響を及ぼしたと考えられる。95年漁期の漁船または企業の収益性の低下を止めることは出来なかった。

大規模漁業による地方市場への魚類供給の貢献度を高めるために、関係者（エビ企業）を招集しての国際会議、アフリカ諸国の水産行政代表団、FAO専門家、地方行政責任者は、95年の漁期よりエビ漁業企業はエビと同量以上の混獲魚を水揚げすべきであると宣言した。その目標には到達しなかったが、94年には1,571トンであった混獲魚販売量が95年は2,373トンに増えた。

マグロ漁業に関しては、最先端技術の活用や国際貿易に通じているのみならず大資本の投入を必要とすることを考慮するに、マダガスカルは現時点では自国で開発を行い得るレベルに到達していない。従って、マダガスカルは、第3国と漁業協定を締結し外国マグロ漁船にライセンスを販売することを決定した。95年に63のライセンスが欧州及びアジアの漁船に発行され、その入漁料として65億3800万FMG相当の外貨を得た。これによるマグロ漁獲量は1万トンと推定されている。大規模漁業の多様化を図った結果、4

隻の伊勢エビ漁船、5隻の延縄漁船を活用することが出来た。

インド洋におけるマグロ漁業はマダガスカル経済にとって重要であり、以下に関する収益計算書を作成することができる。

- ・ S E C R E N (マダガスカル北部の造船所) への委託処理:
49隻のスペイン・マグロ漁船及び同フランス・マグロ漁船
- ・ 積み替え業務:
スペイン・マグロ漁船49,000トン、フランス・マグロ漁船19,000トン
- ・ マダガスカル航空による外国人漁船員750人の輸送(ディエゴ首都)
- ・ ディエゴのSALINA社の塩7千トン出荷(50億CA)
- ・ C M D M社のマグロ8万トンの取扱と積み替え(うち2万トンは缶詰会社P F O Iへ)

1995年5月に調印された欧州連合・マダガスカル共和国間のマグロ漁業協定には、ECの船主(マグロ漁船50隻)は、まき網漁船1隻につき少なくとも2人(のマダガスカル船員)を乗船させる義務を負うことが規定されている。このため、地域プロジェクトである「マグロ協会」の資金拠出、マハジャンガのE N E M(船員訓練学校)及びフランス海運学校管理事業団により、17人のマダガスカル船員が選抜され教育された。これにより、これらマグロ漁船に乗っている西アフリカ漁船員を漸次マダガスカル船員に置き換えていくことが可能となる。

エビ、伊勢エビ、ナマコ、カニ等の高級品の収穫及び商品化のために1995年に69の許可が発行された。マダガスカル全体の総許可件数は244となった。

養殖業開発に関する政策に従って、特に未だ養殖業が開発されていない地方における民間種苗生産者の収益性及びインフラ改善を中心とした福田養殖の普及増強が図られた。その結果、110の民間種苗業者が再編され、1994年の20%増に相当する2,157,216尾の種苗が生産された。一方、国営種苗生産センターによる生産量は民間セクターの利益のために減少した(94年の660,550尾に対し95年500,000尾)。

水田及び内水面での養殖の収益性が改善された結果、94年には2,890トンであった生産量は95年には3,180トンに増大した。海面養殖業についてはエビ養殖が最優先課題である。

この課題に関する零細規模のエビ養殖業開発は、マハジャンガに研修・普及・種苗生産のためのセンターを建設することである。このプロジェクトはJICA(日本)からの総額10.52億円の無償資金協力により実現された。

建設工事は95年3月に開始され75%完成しており、96年4月に引き渡される予定である。

FED(欧州開発基金)の融資のおかげで、民間業者への支援も第2次計画までは持ち越されないですむ。その実施により、最近ベル/ツィビリナナにおけるAQUAMEN、ARTEMAD(稚エビの餌となるアルテミアの生産)、マクロバキューム(淡水エビ養殖)などが事業を興した。現在までに養殖事業を実施しているのはAQUALMAとAQUAMENの2社だけである。

95年、AQUALMAはノシベの自社種苗生産センターで1億2千万尾の種苗を生産し、マハジャンバ湾に面した675haの養殖池において1,535トンのエビを生産した。

AQUAMENはモロンダヴァ北部ベルブカのマングローブ後背地に2,500haの養殖池の造成を計画している。ノシベ、アンコロ（ベル／ツイピリナナ）に2.2haのパイロット・フェーズ養殖池が完成したところである。AQUALMAの種苗生産センターからの最初のPL（稚エビ）の養殖池への放流は10月に行われ、収穫は96年3月に予定されている。

漁業・養殖生産量
- 1994/1995 - (トン)

	1994	1995	備 考
1. 海面漁業	86,692	85,428	
商業型漁業	21,602	20,878	
エビ	9,091	7,635	資料から推算
魚類	2,511	3,242	エビ会社標準 (魚類の修正データ) (#)
マグロ	10,000	10,000	推算
零細漁業		686	
エビ		284	資料から推算
魚類		402	エビ会社の標準
伝統的漁業	65,090	63,864	
エビ	3,000	2,000	小規模漁業データの収集システムが無いの で、今年度は、前年度の数字を採用した。
カニ	1,300	1,300	
伊勢エビ	390	390	
魚類	50,200	50,200	
貝類	187	187	
海藻	702	787	
その他	9,311	9,000	
2. 内水面漁業	30,000	30,000	前年度と同じ指摘事項
	30,000	30,000	
3. 養殖	3,295	4,712	
淡水	2,887	3,177	(##)
内水面(海水)	408	1,535	675haでの生産高
合 計	119,987	120,140	

(#) : 州水産局の4レポートによる :

(SOGEDI PROMA : エビ=3トン、魚類=69トン)
 (PECHEXPORT : エビ=11トン、5.7トンの代わりに11.4トン)
 (COPEMAD : エビ=1.5トン、魚類=4.8トン)
 (RFPW-PA : 魚類=17.4トン)

トアマシナの魚類の小規模漁業データを含む(200トン)

(##) : SAのデータ

水産品輸出

- 1994年/1995年 -

水産品名	1994年		1995年	
	量 (K g)	価格 (F M G)	量 (K g)	価格 (F M G)
エビ				
無加工エビ	4,632,341	107,073,010,300	4,519,754	135,934,437,386
無頭エビ	3,250,371	67,140,741,700	3,052,605	89,580,440,152
有頭エビ			42,920	83,794,163
剥きエビ	168,499	3,597,364,700	268,365	8,122,940,258
計	8,051,211	177,811,116,700	7,883,644	233,721,611,959
カニ				
無加工カニ	71,390	465,733,200	18,553	154,966,795
バラ加工	325,115	1,770,230,700	307,297	2,173,110,716
ツメ	4,974	100,172,200	3,806	67,009,331
カニ身	14,172	245,065,600	5,816	115,596,800
計	415,651	2,581,201,700	335,472	2,510,683,642
伊勢エビ				
無加工エビ	179,849	6,287,389,400	152,195	7,983,816,273
尾	63,726	4,466,857,200	71,244	6,905,739,317
剥きエビ	40	640,000	50	1,750,000
計	243,615	10,754,886,600	222,489	14,891,305,590
なまこ類	539,020	5,845,843,300	317,193	5,335,369,756
海藻類	701,957	1,285,923,300	970,528	2,505,143,729
Chevaquine	8,000	28,245,800	11,229	98,929,600
貝類	187,008	915,810,200	97,810	744,010,836
頭足類	144,264	1,047,242,200	335,034	2,498,529,510
シャコ	2,325	38,384,700	3,734	165,781,750
ウナギ類	6,906	188,855,900	8,609	318,050,240
小魚	2,580	69,543,300	2,460	71,483,680
フカヒレ	16,565	847,529,200	19,045	1,226,843,405
サメの油	3,420	70,469,900	2,523	83,101,830
カエル	697	6,428,100	105	756,000
魚類	1,495,031	10,613,498,800	442,385	8,767,030,771
魚粉	1,274,000	1,399,769,800	1,954,834	3,158,835,809
マグロ缶詰	11,129,218	77,307,270,000	14,031,563	117,296,850,898
サメ	31,087	59,292,800	4,810	11,525,860
淡水エビ	7,135	63,822,800	252	3,880,800
カレイ	0	0	1,211	8,998,912
その他	4,695		20,601	200,988,480
計	15,553,907	100,004,171,200	18,223,926	142,496,111,866
合 計	24,264,384	291,151,376,200	26,665,531	393,619,713,057

備考 : マグロの缶詰と魚粉 : アンチラナナ水産資源局発表の金額を採用
 1 F F = 8 0 0 F M G 1 \$ U S A = 4 . 0 0 0 F M G